

ボランティアの心

今号の“ボランティアの心”は、平成29年度功労賞（個人表彰）を受賞された淡路さんと北山さんにご登場いただきました。

相手も自分も 楽しめるように

淡路 忠義（福祉5期）



活動を始めたきっかけ等

平成10年5月定年を迎え、さて何をするかと考えていた時、カレッジの募集案内を見て（定年前に）入学を決心した。ちょうど高齢化とか介護とかの話がよくあったので、福祉コースを選んだ。

平成13年にはヘルパー2級を習得した。

身体を動かすのが合っているので、入学後すぐ「あそびの会」に入会。福祉関連で視覚障害者のサポートにも参加する（「あかりの会」）。北区のボランティアセンターの依頼を受けて、神港園の活動にも参加する。グループわ 関係の行事にもよく参加している。



神港園で入所者の整髪をする淡路さん

思い出に残ること

参加したすべての行事です。

今後の活動

身体と相談しながらボチボチやっていきたいと思う。

活動を始めようとする人たちへのメッセージ

- ・いろいろなことに 興味を持つ
- ・自分ができるところから始めてみる
- ・持続できることをする
- ・常に新しいことに挑戦してみる
- ・相手が楽しんでもらえるよう、自分も楽しめるように心がける。無理をしない。

ヤンゴン盲学校に 英語点字本を10度寄贈

北山 秀俊（国際9期）



シルバーカレッジのグループ学習の取り組みで、テーマに「ミャンマー」を選んだ。ここでは、福祉活動として、ヤンゴン盲学校へ英語点字本を直接寄贈したことを綴る。

グループ学習は7名で取り組みましたが、卒業後もボランティア活動を続けることを申し合わせて、現認定NPO法人神戸ミャンマー皆好会に加入し、今も3人が活動を継続している。



ヤンゴン盲学校10度目訪問
英語点字本寄贈後記念集合写真
前列右から北山・竹内・盲学校長・

また、グループわ にもミャンマー支援グループとして登録し活動しています。

在学中から竹内義治・東田正喜両氏が英語点字クラブに所属し、英語点字本の選定と製本について、今もクラブとの調整をして頂いている。

2006年卒業の翌年「ミャンマー福祉ツアー」を実施、12名が参加しました。ヤンゴンとピンウールインの盲学校や観光地を巡り、良い思い出になりました。

以後、福祉ツアーに皆好会訪緬ツアーを加え、ヤンゴン盲学校には、10度の訪問で英語点字本を寄贈することができました。

以後、福祉ツアーに皆好会訪緬ツアーを加え、ヤンゴン盲学校には、10度の訪問で英語点字本を寄贈することができました。

Wa からの お知らせ

- ◎グループわ の会員総数
1,444人/9月末日現在
- ◎水の科学博物館来場者数
37,141人/9月18日現在
- ◎秋のハイキング
紅葉の森林植物園と
トゥエンティクロスを歩く
11月16日(木)10時10分集合
神鉄谷上駅改札口前
申込:グループわ Tel. 743-8101

◎KSC男声合唱団

- 第6回演奏会
～旅 男のロマン～
10月21日(土)13:15開場
14:00開演
神戸文化ホール 大ホール
入場無料(入場整理券が必要)
問い合わせ先:総務 小畑
(携帯)090-9097-4425

◎第12回楽遊クラブ 銭太鼓交流会

- 11月18日(土)12:30開場
13:00開演～16:00
シルバーカレッジ ホール
出演:楽遊クラブ銀雅、KSC
楽遊グループ、紅梅の会
(南あわじ)、銭太鼓北山、
若草楽遊会、華音(KAON)
〈入場無料〉